

乙女 文楽

第12回 公演

おとめぶんらく

出演 ■ ひとみ座乙女文楽

浄瑠璃 ■ 竹本越孝

三味線 ■ 鶴澤津賀花

ツレ ■ 鶴澤駒清

*「近頃河原の達引」のみ生演奏

指導 ■ 故 桐竹智恵子

■ 桐竹勘十郎



演目

義経千本桜

道行初音旅

近頃河原の達引

堀川猿廻しの段

2023年 2月4日(土)・2月5日(日)

【開演】11:00 / 15:00 (開場:開演の30分前)

【料金】前売 3500円 当日 3800円

川崎市国際交流センター ホール (川崎市中原区)

*当日は開演1時間前より入場整理券を配布いたします。

お申し込み

現代人形劇センター Tel.044-777-2228 E-mail ticket@puppet.or.jp

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード 516718

その他、全国のセブン-イレブンでお買い求めいただけます。

イープラス <https://eplus.jp/>

お問い合わせ

(公財) 現代人形劇センター

TEL 044-777-2228 FAX 044-777-3570

E-mail asia@puppet.or.jp URL www.puppet.or.jp

*チケットはモトスミ・ブレイメン通り商店街事務所でも取り扱っております。TEL 044-422-3626

*ひとみ座倶楽部会員の方は料金の優待がございます。(取扱窓口・現代人形劇センターのみ)

主催:(公財) 現代人形劇センター

後援:神奈川県/川崎市/川崎市教育委員会/(公財)川崎市文化財団

(公財)かわさき市民活動センター/(公財)川崎市国際交流協会

(公財)日本伝統文化振興財団/川崎商工会議所

NPO法人 日本ウニマ (国際人形劇連盟)

協力:森とせらぎネット/井田中ノ町商栄会/モトスミ・オズ通り商店街

川崎市民俗芸能保存協会/モトスミ・ブレイメン通り商店街振興組合

photo 古屋均

芸術文化振興基金助成事業



■ 演目紹介

*幕間のお話と人形解説には手話通訳がつけます。

「義経千本桜」 道行初音旅

源平合戦の後、義経は兄頼朝の不興を受けて奈良の吉野に隠れ住んでいた。恋人の静御前は家来の佐藤忠信を供に、義経を追って吉野山中にさしかかる。静御前は義経を想い、忠信は過ぎた屋島の合戦で戦死した兄の様子を物語る。が、忠信にはひとつの秘密があった…。肉親の縁薄く流浪する源義経と、亡き親を一途に慕う子狐のふれあいを描く物語の一場面で、文楽、歌舞伎でおなじみの人気演目。



■ 主な配役

2月4日

【貞時】静御前 亀野直美 【佐藤忠信】鈴木文 【狐】村松有紀

【貞時】静御前 亀野直美 【佐藤忠信】田川陽香 【狐】村松有紀

2月5日

【貞時】静御前 亀野直美 【佐藤忠信】田川陽香 【狐】村松有紀

【貞時】静御前 亀野直美 【佐藤忠信】鈴木文 【狐】村松有紀

「近頃河原の達引」 堀川猿廻しの段

京都、堀川の辺に猿廻しの与次郎一家が住んでいた。暮らしては貧しく、妹のお俊は遊女となり、盲目の母は近所の子どもに琴三味線を稽古してようやく生計を立てている。折から、お俊のなじみ客の伝兵衛が事情あつて殺人を犯し、関わりあいを嫌った遊女屋は、お俊を実家に預けた。母も兄も、お俊が伝兵衛に同情し、心中を図るのではないかと気がでない。お俊は二人の心配どおり伝兵衛と運命を共にする覚悟で、「去り状」と偽って遺書を書き残す。その夜更け、とうとう伝兵衛がお俊を訪ねてきた…。貧しくも矜持を失わぬ人々の姿を、詩情豊かに描き、義太夫節の名曲として名高い。

■ 主な配役

【与次郎】山下潤子

【母】松本幸子

【お俊】蓬田雅代

【伝兵衛】亀野直美

【猿】鈴木文

（4日15時、5日11時）

田川陽香

（4日11時、5日15時）

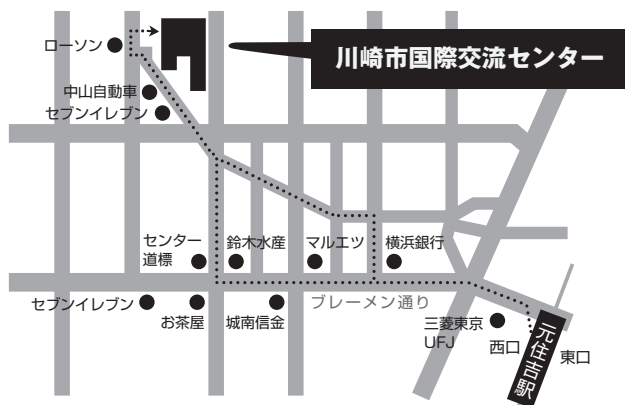


「文楽」はユネスコの「無形文化遺産」にも登録された日本を代表する伝統人形芝居。1体の人形を3人で操ること、感情やしぐさを繊細に表現します。それに対し「乙女文楽」は、1人の人形遣いによって演じられます。大正末から昭和初期に文楽の人形遣い五世桐竹門造らによって誕生し、1人で遣うために、人形の仕組みと操り方にさまざまな工夫がなされています。女性ばかりで演じられる華やかな舞台もみどころです。

乙女文楽とは？

ひとみ座乙女文楽 ■創始者桐竹門造の直弟子である故・桐竹智恵子に1967年から教えを受け、翌68年に初公演。以来50年にわたって、国内はもとより世界各地で公演し、近年は地域に根ざしたさまざまな普及活動にも力をいれてい

ます。智恵子師亡き後は2010年より文楽の桐竹勘十郎師に指導をあおいでいます。メンバーは人形劇団ひとみ座の女性演技者です。2018年「川崎市地域文化財」として顕彰。2019年「松尾芸能賞特別賞」受賞。



会場：川崎市国際交流センター

〒211-0033 川崎市中原区木月祇園町 2-2
TEL. 044-435-7000

会場アクセス

東急東横線・東急目黒線
「元住吉駅」西口下車徒歩 10分～12分

*車椅子での観劇は、事前にお知らせください。